

令和6年度 自己評価・学校関係者評価 報告書					
		学校番号	48	学校名	土岐商業高等学校
学校教育目標 (教育方針)	1. 職員と生徒が一体となり、あらゆる教育活動を通して、質実剛健・明朗闊達な校風を樹立します。 2. 望ましい職業観を育成するとともに、誠実・勤勉で人間性豊かな産業人を育成します。 3. 普通教育と商業に関する専門教育との調和のとれた指導を通して、生涯にわたって、創意をはたかせ、進歩向上を図るための基礎的能力を育成します。				
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【GP】	◎「将来（先）を見据え、今すべきことを前向きに考え、挑戦・行動できる土岐商生」 ・学びに貪欲で、考えをもって失敗を恐れず挑戦し、継続的に行動できる生徒 ・豊かな心と自身をもち、他人を思いやり、共同・協働し、自分で考え行動できる生徒 ◎「商業を学び、地域貢献を大切にできる土岐商生」 ・商業に関する専門性を活かし、問題解決に対して主体的に行動できる生徒 ・地域とつながり、卒業後は即戦力のある人財として、地元や社会への貢献ができる生徒			
	生徒をどう育てるか 【CP】	・基礎・基本となる学力の定着を図り、学ぼうとする意欲を向上させ、ICTを活用しながらコミュニケーション能力と発信力を育成する専門教育 ・各種資格取得を目標とし、学科・コースを自ら選択した上で取り組む専門的な学習 ・地域を含む外部との連携で、実社会の課題を知り、できることを考え実行していく機会を体験する「探究的な学び」を推進			
	どんな生徒を待っているか 【AP】	・本校の校風と商業に関する専門的な学習や部活動に関心があり学びたい生徒 ・高校生活の中で具体的な目標を定め、積極的に取り組み、挑戦したいという意欲のある生徒 ・地域と関わる機会があれば自ら進んで参加し、校内では共同・協働の機会である部活動や生徒会活動を通じて、より良い社会の礎となるために考えて行動できる生徒			
学校の抱える課題	・定員が充たされるだけの入学者を確保できていない。将来生徒数が減少することも含め、安定した生徒数の確保が必要。 ・大学への進学を志す生徒で、本校で実施した探究学習の実績を元にして総合型選抜で合格する生徒がいない。				
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標			
	学習指導	基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、生徒の状況に応じた学びを充実させ、専門知識・技術を習得し、各種資格取得を目指します。			
	進路指導	望ましい勤労観・職業観を育成し、主体的に進路を選択ができる能力や態度を身に付けます。			
	生徒指導	生命を尊重する態度と規範意識の高揚を育成し、「挨拶」「身だしなみ」「礼儀」を身に付けます。			
	特別活動	部活動や生徒会活動を通して、礼儀やマナーを学び、社会性を身に付けます。			

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	毎時間の授業を重視し、家庭学習の習慣を付けさせ、基礎的・基本的な学力の定着を図ります。	8	施策Ⅱ-8	基礎力診断テスト等の実施による定着度の分析	B	【成果】 ・特に高度資格取得において、例年以上の合格者を輩出した。（日商簿記1級2名、基本情報技術者13名など） 【課題】 ・学習時間と素点が比例していることがわかり、習慣化への工夫が必要である。資格取得に向け、授業形態や個々の能力に応じた学習支援なども検討していきたい。 ・ICT機器の活用方法を学ぶ校内研修を行い、引き続きICT機器の効果的な活用方法の研究など教員の研鑽が必要である。	
	ICT機器を活用した授業研究を進め、効果的な運用（探究学習）により、生徒の状況に応じた学びの充実を図ります。	9	施策Ⅱ-9	学校評価アンケート（90%以上の肯定的評価）			
	資格取得の目的や意義、目標を明確にし、合格のための指導体制を整え支援する。	14	施策Ⅱ-14	検定取得者数、受賞者数（前年比増を目指す）			
	授業研究会を実施し、自身の授業改善に努め、授業力向上のための研修を充実させます。	26	施策Ⅳ-26	生徒アンケート（90%以上の肯定的評価）			
進路指導	学年・分掌・教科と連携した土岐商WEP（インターンシップ）の計画的な実施と外部の教育力を活用し、望ましい勤労観・職業観を育成する。	4	施策Ⅰ-4	進路決定率（100%を目指す）	B	【成果】 ・3年生の受験報告書には、小テストや新聞コラムの書き写し等の継続的な取り組みを通して進学・就職試験の際に必要な力を身に付けることができたとの記述が多く、基礎学力の定着につながったと考えられる。大学や企業の方からも、評価していただいている。 【課題】 ・外部模試の刷新により生徒の可能性を発見し、進路実現に向けた次の手立てを考える際の指標とすることができた。今後は、生徒の学習習慣の定着と学力の伸長を目指して教務部と連携しながら、一層の活用方法について考えていきたい。	
	適性検査・新聞コラム・補習・小論文講座により、進路実現のための確かな学力や専門知識・技能を身に付けるための指導を充実させる。	10	施策Ⅱ-10	学校評価アンケート（90%以上の肯定的評価）			
	学年に応じたキャリア教育を推進し、将来の夢や希望の実現に向けて主体的な進路選択ができるようガイダンス機能を充実させる。	13	施策Ⅱ-13	学校評価アンケート（90%以上の肯定的評価）			
生徒指導	安全確保を最優先に考え、生命を尊重する態度を育てます。	19	施策Ⅲ-19		A	【成果】 ・交通安全への意識が向上し、ヘルメット着用率は上がった。 ・生徒の実態に即した指導として規範意識は高まった。 ・生徒の自主的な活動を通じて社会性を育むことができた。 ・細かな悩みに寄り添った対応ができた。 【課題】 ・生徒の悩みを早期に発見し対応することができた。しかし悩みの内容が複雑化しており、聞き取りに時間がかかり、迅速な対応ができなくなるため、全職員での協力体制を整える必要がある。	B
	「挨拶」「身だしなみ」「遅刻防止」を重点とし、全職員で粘り強く指導する。	2	施策Ⅰ-2	学校評価アンケート（80%以上の肯定的評価）			
	規範意識の高揚のため、外部講師による講話や全校集会等を通じて、モラルやマナーについて呼びかける。	1	施策Ⅰ-1	学校評価アンケート（80%以上の肯定的評価）			
	教育相談アンケート、二者面談、研修会を実施し、生徒の様子や人間関係の実態を的確につかみ、全職員が共通理解のもと指導にあたる。	3	施策Ⅰ-3	教育相談アンケートによる分析			
特別活動	部活動や生徒会活動への自主的・自発的な参加を促し、所属意識を高め、礼儀やマナーなどを学ぶことにより、社会性を育みます。	20	施策Ⅳ-20	学校評価アンケート（80%以上の肯定的評価）	B	【成果】 ・転部や退部を考えている生徒について、関係の先生方と連携を図ることにより、生徒が前向きに学校生活を送れるよう支援することができた。 【課題】 ・HPやSNSにより、部活動の内容が広く認知され、生徒・保護者から好評を得た。しかし、一部の部活動で情報提供が遅れる場合があり、収集体制の強化が必要である。 ・普通救命講習では、代表生徒が受講内容を各部に伝えることができるような環境を整えたい。	
	各部活動の競技力向上に努め、各種競技大会等で高い到達目標を掲げ活発に活動します。	24	施策Ⅳ-24	大会記録・結果（全国大会出場数前年比増を目指す）			
	HPによる情報提供により各部の活動を積極的に広報し、学校全体で部活動の活性化を図ります。	25	施策Ⅳ-25	学校評価アンケート（80%以上の肯定的評価）			
	活動場所や用具の点検、熱中症予防や救急法に関する講習会を実施し、安心・安全に活動できる環境を整備します。	19	施策Ⅲ-19	部活動に関わる重大事故件数（0件を目指す）			

来年度に向けての改善方策等	実施日：令和7年1月16日	学校関係者評価	実施日：令和7年1月17日
・年度当初に、スクール・ミッションやスクール・ポリシーを生徒に明確に示し、地域連携や資格取得の重要性を意識させる。 ・生徒の状況に応じた学びの充実を図るため、ICT機器の活用方法を学ぶ校内研修を行うなど、引き続きICT機器の効果的な活用方法について研究を進める。 ・早い段階で将来の進路について意識させ、適切な情報提供を行うことにより、進路実現に向け自ら計画、実行できるような環境整備を構築する。 ・生徒減少が著しい今日において、地域の方、特に中学校及び中学生に対し、商業高校の取組について知っていただくことが大切である。地域での活動の様子や土岐商の実績など、HPやSNSを使った情報発信に努める。また、中学生の体験会などを充実させるとともに、出前授業など中学校へ出向いた活動を充実させたい。		・課題研究発表会に参加して生徒の研究成果を見たが、どのグループも社会に出てすぐに実践できる内容や生徒の創造力が発揮された内容であった。また、全校生徒の前で研究成果をしっかりと発表できていた。今後も、生徒の探究活動や発表の場を大切に指導していただきたい。 ・スクール・ミッションについて全委員の理解を得た。引き続き、地域連携や資格取得について推進してほしい。 ・時代に応じて、ICT機器などの効果的な活用など、授業改善に向けた取組がされている。 ・学年に応じて計画、実施された進路行事や模試などの成果が出て、素晴らしい進路実績を出している。 ・命を守ることが大切。自転車通学者のヘルメット着用は根気強く推進してほしい。 ・生徒の悩みに対して、親身に寄り添った指導援助ができています。また、組織として迅速に対応できている。 ・部活動については全員加入制ではないが、今しかできない生徒の成長の場なので推進してほしい。 ・地域で土岐商の生徒が活動する場面が増えている。もっとPRできるとよい。	